

令和6年度 年間指導計画及び具体的な評価の方法	1年音楽科	観点別学習状況 評価の観点	観点番号
		知識・技能	1
		思考・判断・表現	2
		主体的に学習に取り組む態度	3

月	指導事項区分		配 当 時 間	指導内容 主な評価規準	観点 番号	具体的な評価の方法
	単元	節				
4月	オリエンテーション 音楽の基本的な事柄（楽典）	「校歌」	2	・小学校での学習内容を振り返り、新しい級友とともに歌う喜びを味わい、音楽学習への意欲・態度・学習の仕方を身に付ける。 ・小学校の復習も兼ねて、音符・休符など基本的な知識を確認する。音楽記号等を知ることにより良い表現が出来るようになる。（知識）	2	授業観察
		音楽記号、音符・休符、リズムについて			1	プリント 定期テスト
5月	イメージと音楽 心の歌	「春」（鑑賞）	2	・ソネットを手がかりに、各部分の音楽の変化やアンサンブルの響きを感じ取る（詩と音楽の流れの関連を感じ取れる。） ○曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。（知識）	3	・授業観察
		「浜辺の歌」	2	・詩と旋律が一体となった美しさを感じ取って 表現・鑑賞する(日本歌曲の美しさを感じ取り、表現できる。) ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。（思考） ○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。（態度）	1 2	・プリント・鑑賞文
					2 3 1	・プリント ・歌唱の練習 ・定期テスト
6月 ・ 7月	合唱の喜び	指揮について	3	・合唱曲を使い指揮の練習。（拍節が振れる。強弱が付けられる。）	2 3	・グループ発表
		「課題曲」 「自由曲」選び	4	・パートの役割を感じ取って自主的にパート練習が出来るようにする。 ・自分たちのクラスに合う自由曲を、選ぶことができる。（自由曲の選曲で、自分の感想や意見をしっかりと書くことができる。 ○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりや声の音色や響きについて理解している。（知識） ○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） ○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。（態度）	1 3	・定期考査 ・合唱コンクールの自由曲選曲用紙 ・実技テスト
		伝統音楽	2		1 2	
			3	・日本の伝統文化である、雅楽の魅力に親しみ、それを愛好する心情を育てる。（雅楽の歴史を知り、その響きや合奏の仕方から、その独特な美しさを感じ取ることができる。） 修学旅行で訪れる奈良の正倉院とのつながりも教える。 ○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（態度）	1 3	・プリント・鑑賞文 ・定期考査 ・授業での発言等
9月 ・ 10月	器楽	アルトリコーダー	2	・アルトリコーダーの基本的な奏法を知り、少人数でアンサンブルが出来るようになる。「エーデルワイス」・「聖者の行進」 ○創意工夫を生かし，全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。（技能）	3 1	授業観察 実技テスト
	合唱の喜び	課題曲 自由曲の取り組み	2	○音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて，音楽における働きと関わらせて理解している。（知識） ・混声三部合唱の豊かな響きを感じ取りながら，合唱コンクールに向け合唱曲に取り組み 表現力と合唱を愛好する 心情を育てる。（声を出し、ハーモニーを感じ表現できる） ○創意工夫を生かし，全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。（技能） ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受しながら，知覚した事と感受した事との関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。（思考） ○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。（態度）	1 3	・定期考査 ・プリント
			6		3 1 2	・授業観察 ・実技テスト
11月	心の歌	「赤とんぼ」	2	・詩と旋律が一体となった美しさを感じ取って 表現・鑑賞する(日本歌曲の美しさを感じ取り、表現できる。)	3 1	・授業観察 ・定期考査
	イメージと音楽	「魔王」	2	・曲が作られた背景を理解し、表現を工夫出来る。 詩と音楽が一体となった劇的な内容や歌唱表現の豊かさを学ぶ。(作曲家・リートについての知識、登場人物の声・表現の違いを感じ取り鑑賞する。) ○音楽の特徴とその背景となる文化や歴史，他の芸術との関わりについて理解している。（知識） ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。（思考）	2	・歌唱練習
					1 3	・定期考査 ・鑑賞文
					2	・プリント

12月	創作	「リズムゲーム」 「My Melody」	3	・1 学期に学習した楽典の知識を使って、4小節のリズムを作り、仲間とアンサンブルしてみる。 ・前回のリズムにクロムブックを使って作曲をする。 ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫している。(思考) ○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。(態度)	3	・作品提出 ・プリント
1月	和楽器	箏曲「六段の調」	2	・歴史・楽器・奏法について、DVD や CD の鑑賞を通して学ぶ。日本の伝統音楽に触れ、その良さを味わう。 (和楽器に関する知識を深め、日本の伝統音楽に対する興味を持つことができる。) ○楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。(知識) ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら器楽表現を創意工夫している。(思考)	1 2	・定期テスト ・鑑賞文
2月	器楽	アルトリコーダー	3	・「ラヴァースコンチェルト」の曲想を感じ取りアンサンブルで表情豊かに演奏する。 ○創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。(技能)	3 2 1	・パート練習 ・全体練習 ・実技テスト
3月	卒業式の歌	時の旅人	3	・儀式的行事の意味を理解し意欲的に活動する。(歌詞の内容や曲想を感じ取って表現を工夫する。声部の役割を感じ取り全体の響きに気を付けて表現する。) 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(態度)	3	・全体練習